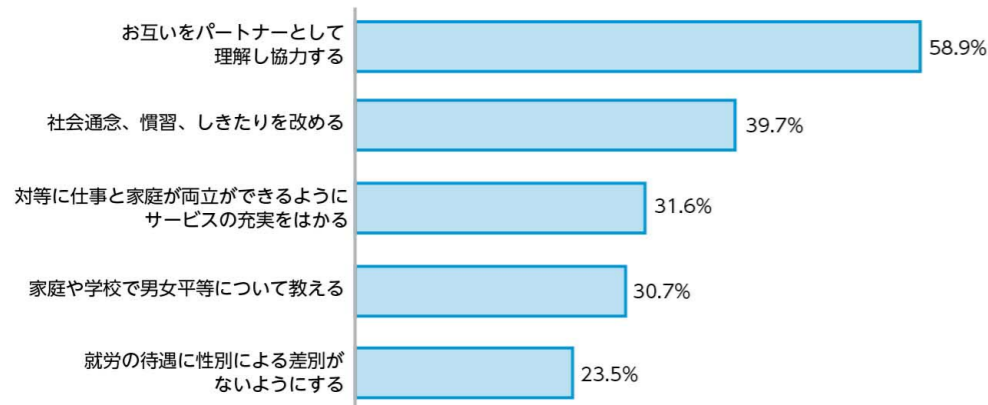
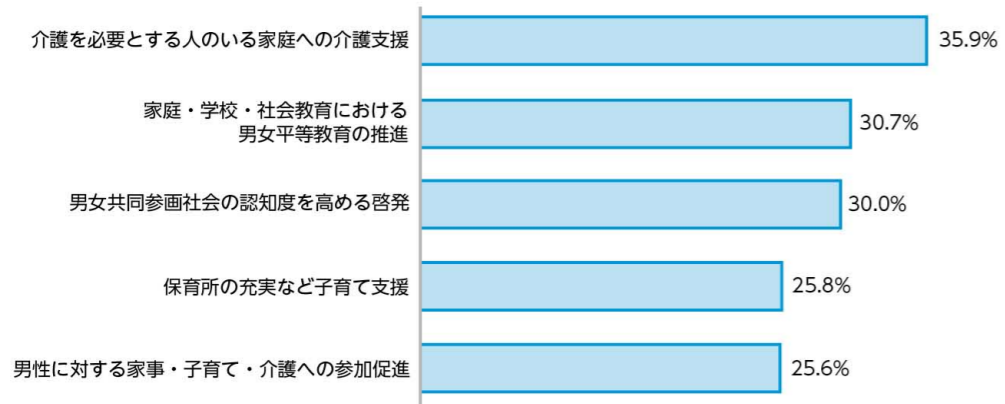


8 今後、男性も女性も、共に社会のあらゆる分野にバランス良く積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか？（複数回答）



男女のバランスよい社会参加に必要なことは「お互いをパートナーとして理解し協力する」が半数を超えトップとなり、多くの方が、まず身近な人の意識や環境を変えて、理解・協力をしてもらうことが必要だと感じている結果となりました。

9 男女共同参画社会を実現するために、寄居町ではどのような事に力を入れたらよいと思いますか？（複数回答）



「介護を必要とする人のいる家庭への介護支援（35.9%）」や「家庭・学校・社会教育における男女平等教育の推進（30.7%）」「男女共同参画社会の認知度を高める啓発（30.0%）」などに力を入れたらよいとの意見が多く、多方面にわたる取り組みの必要性があります。

6月23日～29日は男女共同参画週間です！

「男女共同参「学」」
「知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる」

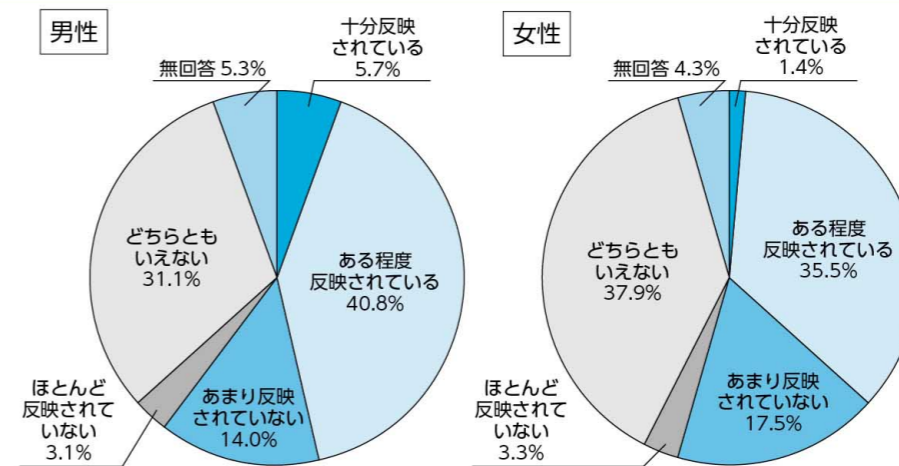
町では、男女共同参画週間に合わせ「“わたし”の防災対策」と「わたしたちの声をもちと社会へ」の2つのテーマで男女共同参画パネルを展示します。

「“わたし”の防災対策」パネルでは、大切な命を守り、被害を少しでも減らすために日頃からできることを、「わたしたちの声をもちと社会へ」パネルでは、多様な声を社会へ届けるために、一人一人ができることをご紹介しますのでぜひお越しください。



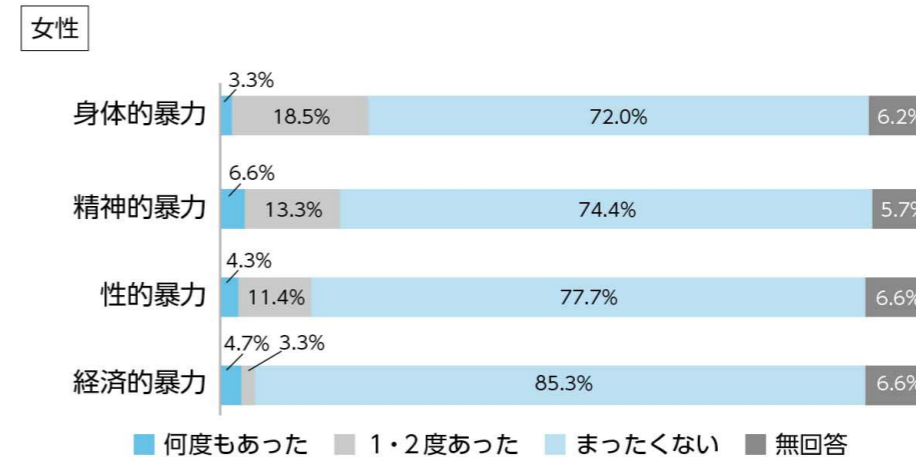
- ▶ 期間／6月20日(木)～27日(木) ※土・日曜日を除く
- ▶ 場所／役場1階ロビー

5 あなたは、地方自治体（県や市町村）などの施策について、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか？



男女共に「ある程度反映されている」と答えた人の割合が高くなっています。しかし、男女それぞれの「十分反映されている」と「ある程度反映されている」の割合の合計については、男女間で9.6ポイントの差が開いており、女性の方が反映されていないと感じている結果となりました。

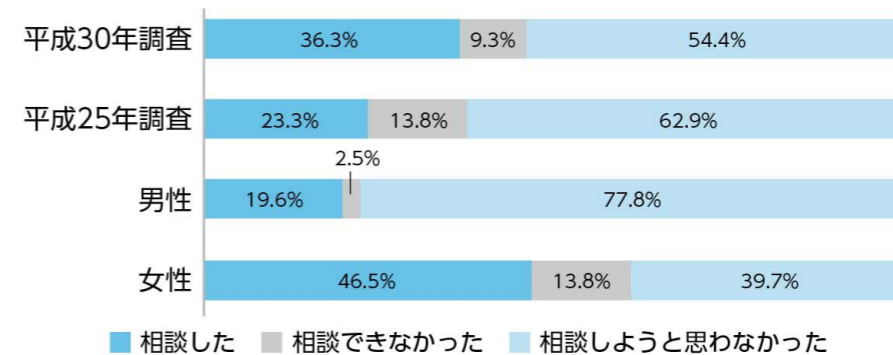
6 あなたはこれまでに、あなたの配偶者・パートナーから次のような行為をされたことがありますか？



ドメスティック・バイオレンス（DV）とは、配偶者や恋人など親密な関係にある男女が相手に対してふるう暴力のことをいいます。暴力にはいろいろな形態があり「身体的暴力（※1）」「精神的暴力（※2）」「性的暴力（※3）」「経済的暴力（※4）」があります。女性が経験したものとしては、前回調査よりすべての項目で割合が増加しました。

※1「身体的暴力」…殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばす、刃物を振りかざすなど
 ※2「精神的暴力」…「誰のおかげで生活できるんだ!」「役立たず!」などの暴言、交友関係や毎日の行動を細かく監視、何を言っても無視するなど
 ※3「性的暴力」…望まない性行為の強要、避妊に協力しないなど
 ※4「経済的暴力」…必要な生活費を渡さない、仕事を無理やり辞めさせて経済的に弱い立場に立たせるなど

7 あなたは、その受けた行為（DV）について誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか？



DVの被害者が暴力を受けたとき、相談することは少ないことが分かります。DVの相談状況については、女性の被害者で「相談した」は46.5%に対し「相談できなかった」「相談しようと思わなかった」の合計は53.5%で、半数を超えています。

※人権推進課ではDV相談を随時行っています。（月～金曜日8:30～17:15。祝日、年末年始を除く）相談内容の秘密は固く守りますので、お気軽にご相談ください。